



## 長崎教会群 撮影紀行

深い信仰の歴史を物語る地  
遠藤周作ゆかりの地でもある

### 「夕霞の外海」

その情景は、何故か私に隠れキリシタンの辛い歴史を思い巡らせる。  
(角力灘に浮かぶ島影、そしてそのはるか向こうに五島列島を望む)

島原・天草の乱の後、幕府の弾圧が一層厳しくなる中、  
比較的監視が行き届かなかったこの地、「外海地区」に  
信徒たちは移り住み潜伏した。

そして、迫害を逃れこの地からも更に、角力灘のはるか  
向こう、辺境の地五島へと移り住む。

そして更には、五島の地でも迫害を受けることとなる。





Hideki Makise

Hideki Makise



*Hideki Makisé*



*Hideki Makisé*

# 長崎教会群撮影紀行

牧瀬英喜  
<https://myfilter.exblog.jp>



# 目 次

2009・05・07 (木)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 田平教会「長崎から世界遺産を」	1
2009・05・08 (金)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 田平教会ミサ「長崎から世界遺産を」	7
2009・05・15 (金)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 西木場教会「長崎から世界遺産を」	12
2009・07・26 (日)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 紐差教会「長崎から世界遺産を」	16
2009・08・04 (火)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 宝亀教会「長崎から世界遺産を」	19
2009・08・05 (水)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 山田教会「長崎から世界遺産を」	24
2010・09・20 (月)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 神ノ島教会1 「長崎から世界遺産を」	28
2010・09・23 (木)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 神ノ島教会2 「長崎から世界遺産を」	31
2010・09・28 (火)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 神ノ島教会3 「長崎から世界遺産を」	33
2010・09・29 (水)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 外海1 「長崎から世界遺産を」	36
2010・10・06 (水)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 外海2 出津教会「長崎から世界遺産を」	38
2010・10・07 (木)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 外海3 黒崎教会「長崎から世界遺産を」	41
2010・10・19 (火)	
長崎・平戸 教会群撮影紀行 外海4 大野教会「長崎から世界遺産を」	45
2012・12・24 (月)	
Merry Christmas!	49
2013・12・24 (火)	
長崎・平戸教会群撮影紀行 降誕祭	52
2014・12・03 (水)	
佐世保 三浦町教会	53
2019・08・06 (火)	
久方ぶりに生月、平戸を訪ねて 山田教会	59
2019・08・07 (水)	
久方ぶりに生月、平戸を訪ねて 春日集落	63

2019・08・08 (木)

久方ぶりに生月、平戸を訪ねて 田平教会 ..... 67

2009・05・07 (木) —————

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 田平教会「長崎から世界遺産を」

もうずいぶんと昔、17年前かあるいは20年前か、  
平戸口の「田平教会」（＝田平天主堂）に撮影に通った。  
銀塩フィルム時代である。  
その赤茶けた煉瓦造りとクロスを冠する墓石群が、  
夕日をバックにより一層赤く焼けていく様に感動した。

それから途絶えていた想いが、「長崎から世界遺産を」や、  
JR九州の中吊り（教会の）ポスターにより急速に呼び覚ました。  
写真を始めた愚息と教会群撮影紀行の計画をやっと実行できた。  
同じテーマで行動を共にできる事はこれに勝るものはない。

長崎教会群撮影紀行

20年程前の作品



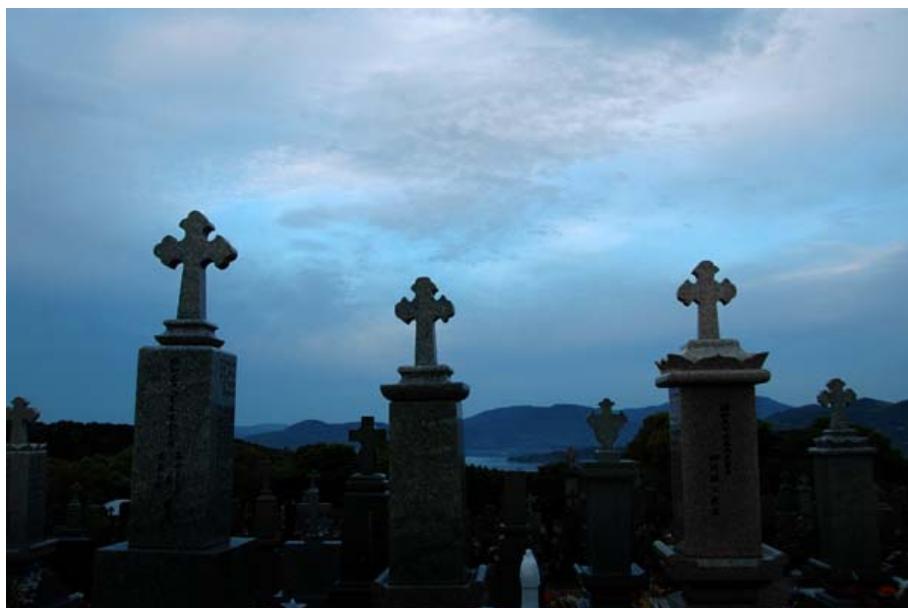
今回の撮りおろし作品、順次アップしていきたいと思います。  
今回は車中泊し夕景、そして夜明け、早朝と狙ってみました。





そして夜明け、身が引き締まる思い。

朝早くから墓地のお掃除に来られていた信徒さんもいらっしゃいました。



最後に、撮影とはいえたバタとした振る舞い、非礼の段、  
ルルド様にお応びし感謝の気持ちと共に、  
次回「月光」を期してこの地を離れました。

「長崎から世界遺産を」

田平教会  
平戸市田平町小手田免19

2009・05・08 (金) —————

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 田平教会ミサ「長崎から世界遺産を」

田平教会 土曜夕ミサ 19:00

こちらでは、日曜の朝ミサに来れない信徒のために夕方ミサをされている。

今回の最大の収穫は、ミサを撮らせて頂けた事。

お許しをいただけた事に大変感謝致します。

また、色々と相談にのつて頂いたシスター、ご協力感謝申し上げます。











「長崎から世界遺産を」

田平教会  
平戸市田平町小手田免19

2009・05・15（金）

---

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 西木場教会「長崎から世界遺産を」

山の上にひつそりと建つ、板壁の素朴でありながらも、  
願いを込めた尖塔に立つ十字が青空に映える、西木場教会。  
その昔は本当に隠れた存在だったのだろう。









「長崎から世界遺産を」

西木場教会  
松浦市御厨町米の山免206

2009・07・26 (日) —————

長崎・平戸 教会群撮影紀行 紐差教会「長崎から世界遺産を」



Nikon D200 SIGMA12-24mmF4.5-5.6 ISO200 f/6.7 1/320s +0.5



Nikon D200 SIGMA12-24mmF4.5-5.6 ISO200 f/6.7 1/400s +0.5 , f/6.7 1/320s  
+0.5



Nikon D200 SIGMA12-24mmF4.5-5.6 ISO1600 f/5.3 1/50s

2009・08・04 (火) —————

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 宝亀教会「長崎から世界遺産を」

日曜朝7:30頃 急な坂を杖を頼りに続々と集まって来られる。



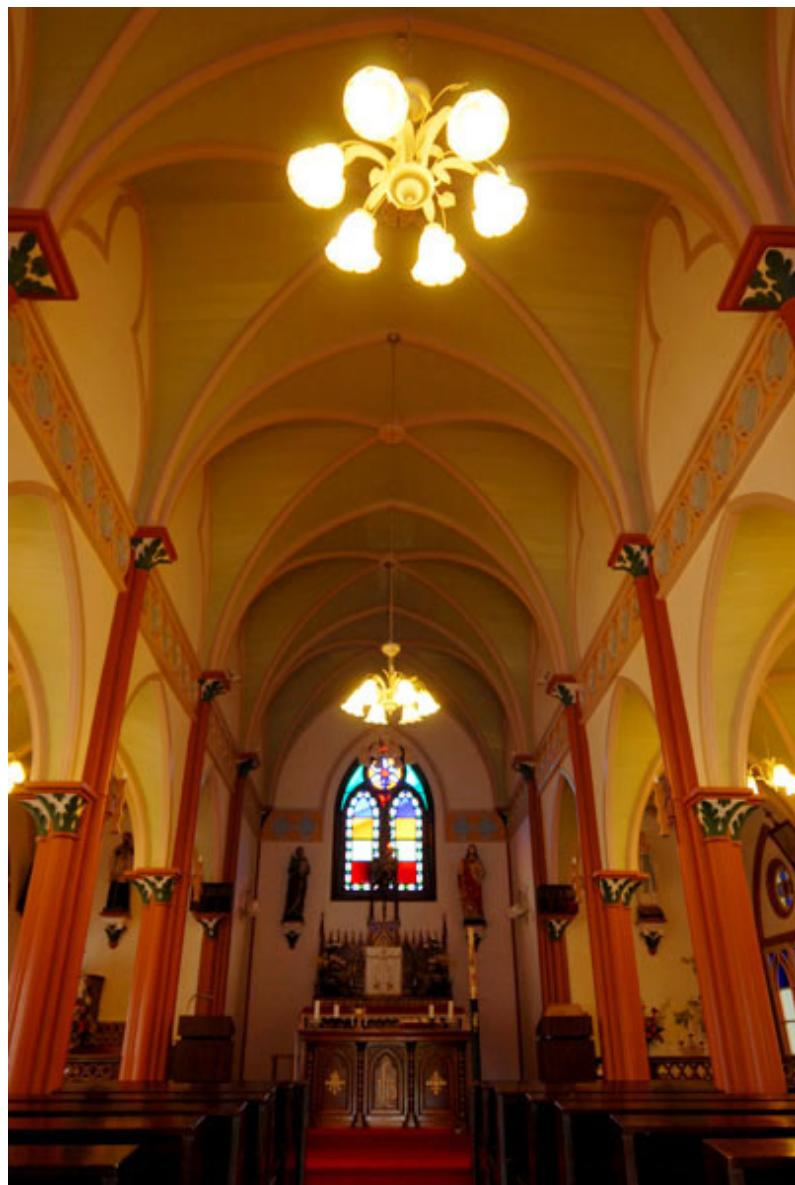
Nikon D200 SIGMA12-24mm ISO200 f/5.6 1/320s

正面だけが煉瓦造りで他は木造、  
信徒さんのお話では後から煉瓦造の上に漆喰（定かではない）を塗ったそうだ。  
赤と白が印象的だ。時雨れ時にも訪れてみたい。



Nikon D200 SIGMA12-24mm ISO200 f/6.7 1/250s

一般的な教会の建物には珍しく、  
ステンドグラスが付いた窓は腰高ではなく掃き出しとなりテラスが続いていた。  
私はこんな所にふと生活感を感じ、日々の生活と共にあるのだろうなあと感じる。  
また、長崎の洋館群の建物の造りを連想させる。



Nikon D200 SIGMA12-24mm ISO400 f/5.6 1/15s

天井はこちらもゴシック様式の板張りで淡い緑で彩色されている。



Nikon D200 SIGMA12-24mm ISO400 f/4.8 1/6s



Nikon D200 SIGMA12-24mm ISO200 f/6.7 1/400s



Nikon D200 SIGMA12-24mm ISO200 f/6.7 1/250s

見下ろすと岬があり周囲は森と畠に囲まれる。  
のどかな自然の中に在り、心と生活の中心に在るのでしよう。

「長崎から世界遺産を」  
宝亀教会 平戸市宝亀町1170

2009・08・05 (水) —————

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 山田教会「長崎から世界遺産を」

生月島は全島をして隠れキリシタンの島と言われる。

島内には数多くのキリシタン遺跡が散在する。

山田教会 平戸市生月町山田免442



Nikon D200 SIGMA 12-24mm ISO200 f/6.7 1/1000s



Nikon D200 SIGMA 12-24mm ISO400 f/5.6 1/40s

十字架の下には鐘が吊られ、その下にはステンドグラスの丸窓が在る。

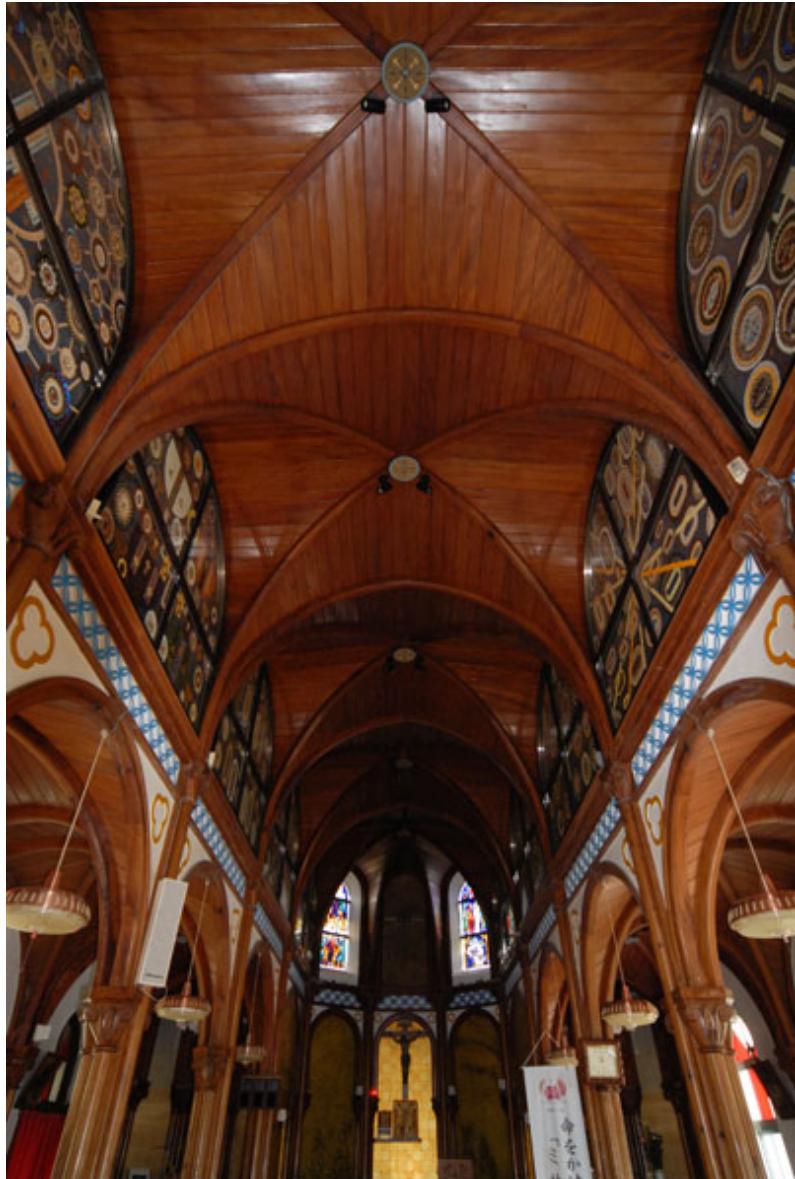


Nikon D200 SIGMA 12-24mm ISO400 f/5.6 1/30s +1.0 Flash -1.5



Nikon D200 SIGMA 12-24mm ISO400 f/5.6 1/30s +1.0 Flash -1.5

天井はゴシック様式でニス塗りムクの板張り。側面は、海中を思わせる紺碧色をバックに、魚や貝類をモチーフに装飾された、壁というか、ステンドグラス的な仕上がりとなっている。  
信徒の殆どは漁業によって生計を維持しているそうだ。



Nikon D200 SIGMA 12-24mm ISO400 f/5.6 1/30s +1.0 Flash -1.5

「長崎から世界遺産を」「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

2010・09・20 (月) —————

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 神ノ島教会1 「長崎から世界遺産を」

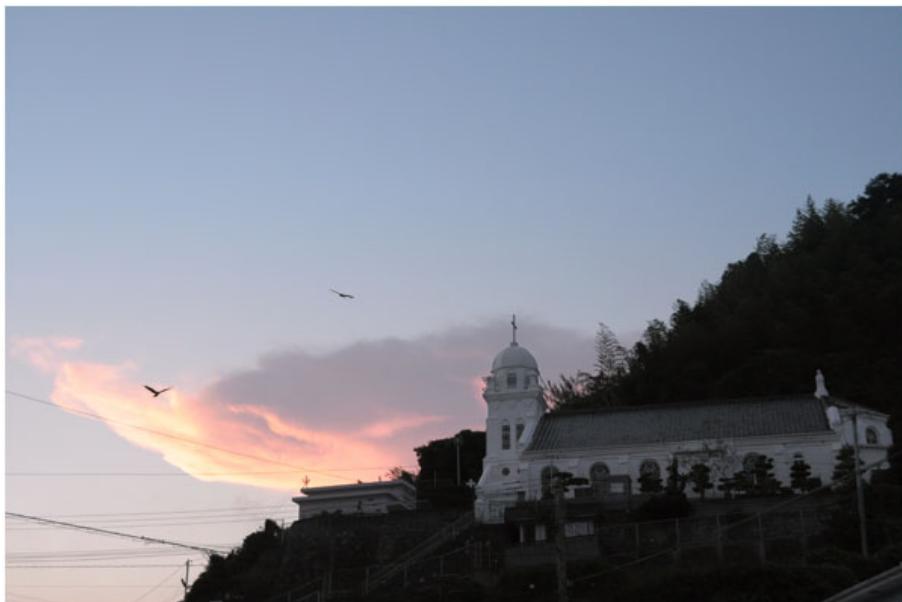
長崎から世界遺産を  
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

登録候補遺産の教会群を巡る撮影行、  
久しぶりに赴くことができました。  
約1年強ぶり、もう少し短いスパンで頑張らなくては辺り着けない。  
で、今回はロケハンのスタンス。

遠藤周作ゆかりの地・外海地区、そして神ノ島。

初めて訪れる地は、やはりわくわく、心躍るひと時。  
やっと期待に応えてくれた、ほんの一瞬の夕景。  
一瞬のその時、時は止まってくれない。

まずは「神ノ島教会」から順次アップしていきましょう。





神ノ島教会：[1897年竣工 / 煉瓦造]

長崎市神ノ島町2-148 TEL 095-865-1028

2010・09・23 (木)

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 神ノ島教会2 「長崎から世界遺産を」

長崎から世界遺産を  
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

登録候補遺産の教会群を巡る撮影の旅。  
岬の高台に建つ「神ノ島教会」

急な階段を登ると、この白亜の建物。  
1897年竣工の煉瓦造、美しい建物。

海を見下ろす白い十字架は、  
陽の光やステンドグラスの光を受け、  
その色を神々しく変貌した。





神ノ島教会：[1897年竣工 / 煉瓦造]  
長崎市神ノ島町2-148 TEL 095-865-1028

2010・09・28 (火) —————

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 神ノ島教会 3 「長崎から世界遺産を」

長崎から世界遺産を  
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

登録候補遺産の教会群を巡る撮影の旅。  
岬の高台に建つ「神ノ島教会」

シスターのご好意でわざわざ建物内の照明を点けていただいた。  
お陰様で、前出のような大変美しいステンドグラスの姿を写しとめられた。



また、シスターは五島や黒島の教会を経てこちらに来られた由。  
私が最も撮影巡礼に赴きたいと思っている地。  
しかしながら、地理的には行きにくい土地柄。

そんな地の情報を色々といただき、  
現地で相談にのっていただける方もご紹介いただいた。  
シスターにはこの場にて改めて厚くお礼申し上げます。





神ノ島教会：[1897年竣工 / 煉瓦造]  
長崎市神ノ島町2-148 TEL 095-865-1028

2010・09・29 (水) —————

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 外海1 「長崎から世界遺産を」

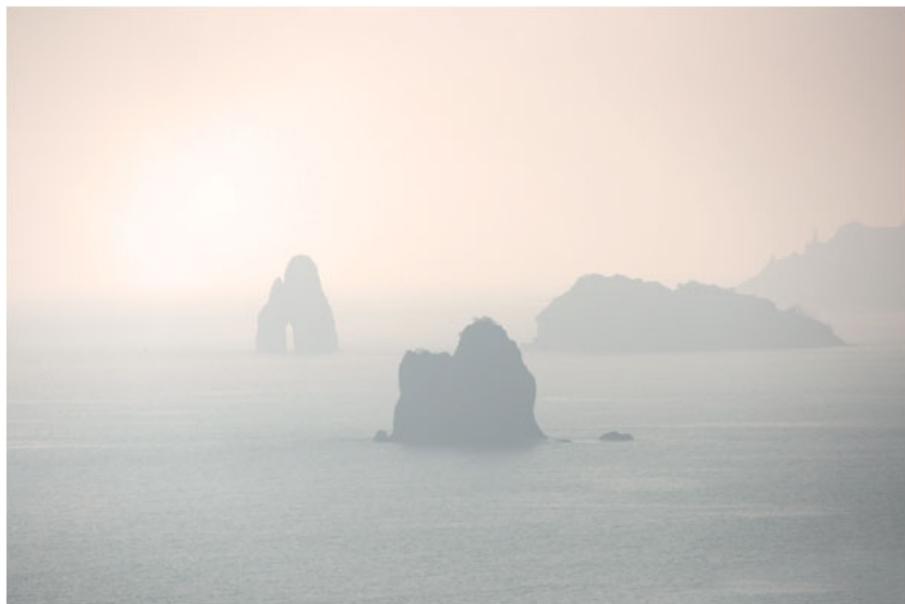
長崎から世界遺産を  
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

登録候補遺産の教会群を巡る撮影の旅、  
隠れキリシタンの地、「外海」（そとめ）

その深い信仰の歴史を物語る地。  
遠藤周作ゆかりの地でもある。

島原・天草の乱の後、幕府の弾圧が一層厳しくなる中、  
比較的監視が行き届かなかったこの地、  
「外海地区」に信徒たちは移り住み潜伏した。

そして、迫害を逃れこの地からも更に、  
角力灘のはるか向こう、辺境の地五島へと移り住む信徒も在った。



「夕霞の外海」

その情景は、何故か私に隠れキリシタンの辛い歴史を思い巡らせる。  
(角力灘に浮かぶ島影、そしてそれはるか向こうに五島列島を望む)

2010・10・06 (水) —————

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 外海2 出津教会「長崎から世界遺産を」

長崎から世界遺産を  
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

登録候補遺産の教会群を巡る撮影巡礼の旅、  
隠れキリシタンの地、「外海」（そとめ）。

角力灘を見下ろし、遙か向こうに五島列島を望む。  
遠藤周作ゆかりの地。  
「沈黙」はこの地が舞台となった。

『人間がこんなに哀しいのに主よ海があまりに碧いのです』

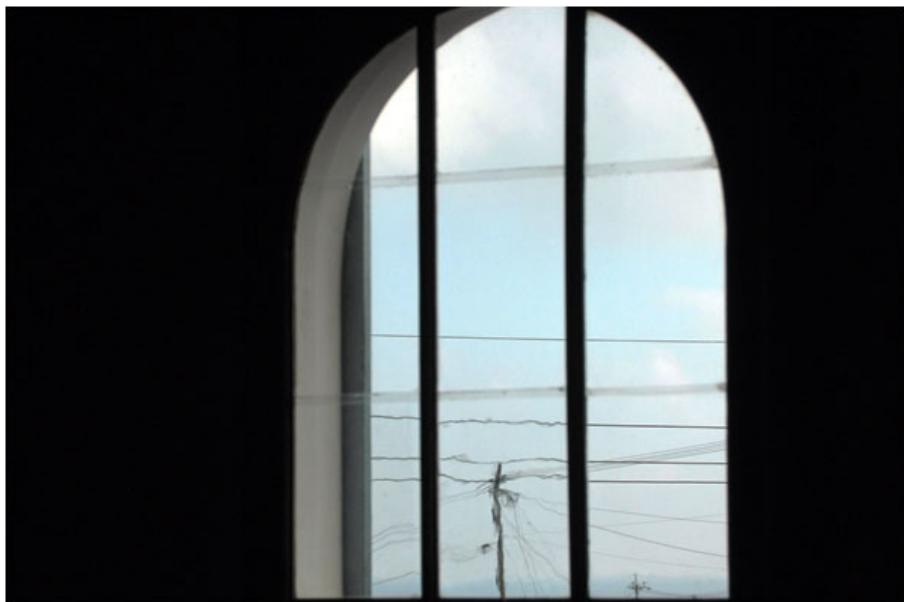
「沈黙」の碑のそばに立つ「出津教会」（しつきようかい）

角力灘に、そして谷間一帯に朝な夕なに響き渡る鐘の音。  
白亜の鐘塔と黒瓦の屋根との組み合わせが歴史を感じさせる。  
明治15年建造、波打つ窓ガラス越しの景色はおぼろげに揺らめく。

立派な鐘塔をのせた建物は頭でっかちにさえ見える。  
なるほど、屋根の高さを低く抑えて建造した為。  
海に面し、吹き上げてくる強風に逆らわない設計だとか。

「逆らわず、されどしぶとく」 ······

辛い歴史と重なりあう。





出津教会（しつ きょうかい）  
[1882年竣工 / 県指定有形文化財 / 煉瓦造]  
長崎市西出津町2633 / TEL 0959-25-0012

2010・10・07 (木) —————

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 外海3 黒崎教会「長崎から世界遺産を」

長崎から世界遺産を  
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

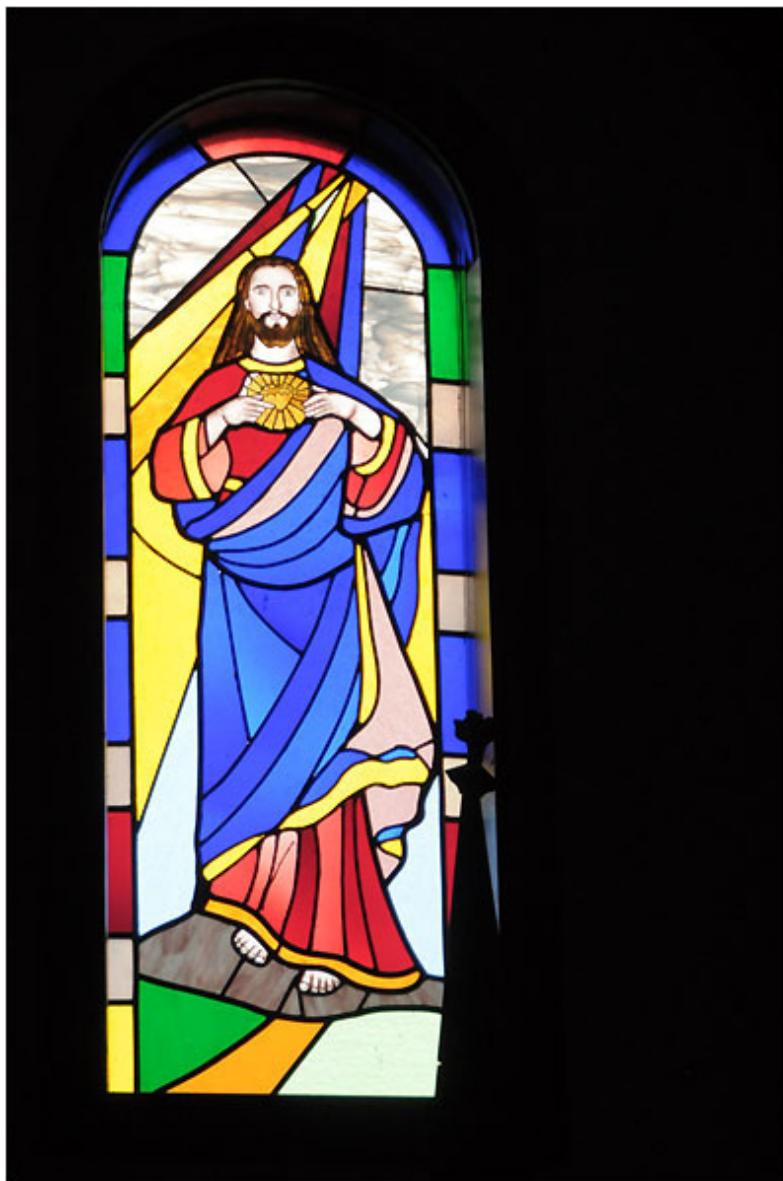
登録候補遺産の教会群を巡る撮影の旅、  
隠れキリシタンの地、「外海」（そとめ）。

角力灘を見下ろし、遙か向こうに五島列島を望む。  
遠藤周作ゆかりの地。  
『人間がこんなに哀しいのに主よ海があまりに碧いのです』

小説『沈黙』の舞台ともなった教会、「黒崎教会」。

旧外海村のキリシタン集落の一つ黒崎地区。  
角力灘を見下ろす小高い丘に建つ煉瓦造、  
内部はゴシック調でステンドグラスが美しく、  
またコウモリ天井（リブ・ヴォールト天井）の重厚な教会。  
貧しい生活から教会建設はままならない。  
信者たち自らが煉瓦を一つ一つ積み上げ完成させた。







黒崎教会

[1920年竣工 / 煉瓦造]

長崎市黒崎町26 / TEL 0959-25-0007

2010・10・19（火）

## 長崎・平戸 教会群撮影紀行 外海4 大野教会「長崎から世界遺産を」

長崎から世界遺産を  
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

登録候補遺産の教会群を巡る撮影巡礼の旅、  
隠れキリシタンの地、「外海」（そとめ）。

角力灘を見下ろし、遙か向こうに五島列島を望む。  
遠藤周作ゆかりの地。  
『人間がこんなに哀しいのに主よ海があまりに碧いのです』  
(小説「沈黙」)

ひっそりと山間に建つ、石壁の「大野教会」。

(前出の) 出津教会より北へ4km程の所。  
角力灘から急に切り立った山間の中、  
狭いくねくね道を車で一気に駆け上ると、  
無理矢理地ならしたような勾配が残る狭い、狭い敷地。

こぢんまりとした平屋の教会。  
明治26年（1893）ド・ロ神父の設計施工により建てられた。  
石壁は、当地で産出される玄武岩を割って用いており、  
ド・ロ神父独特の工法で「ド・ロ壁」と呼ばれる。  
地域の風土に密着した工法と造形を醸し出す。

過疎化の波には抗しきれず信徒世帯も少なくなり、  
今は普段のミサは無く、連絡先は出津教会となっていた。







大野教会

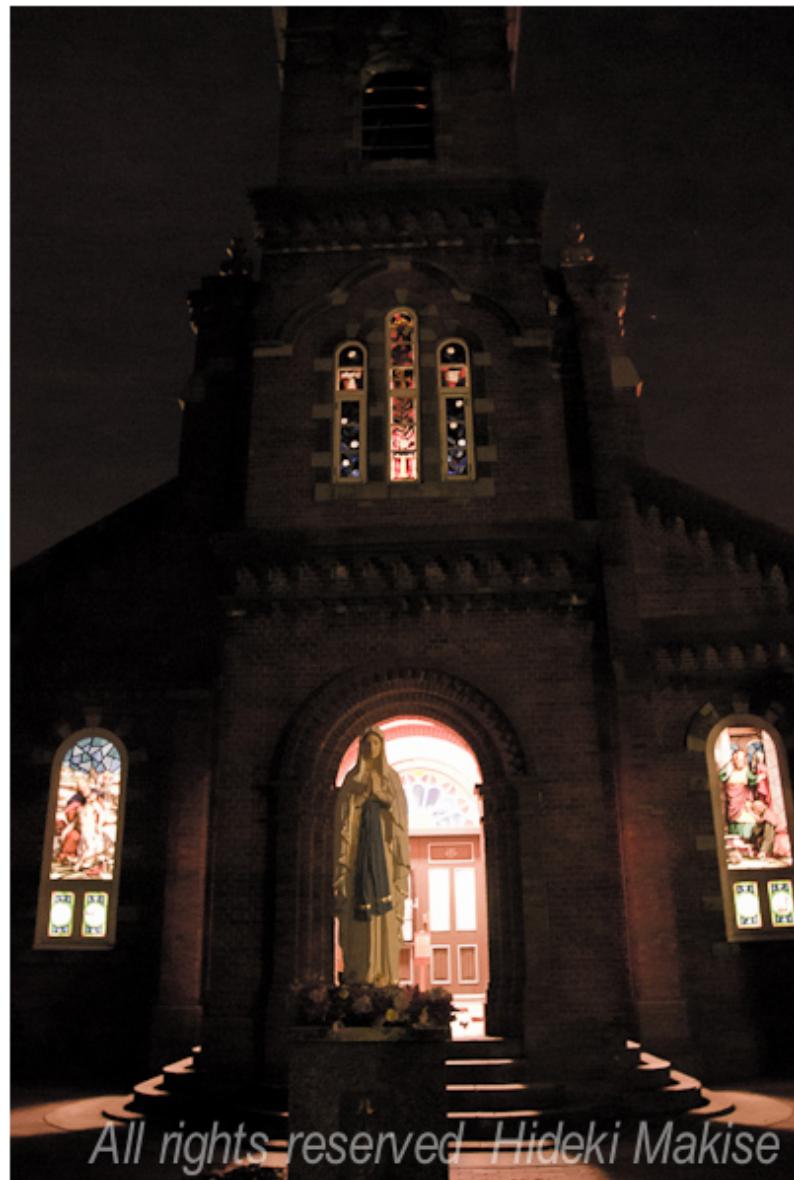
[1893年竣工 / 県指定有形文化財 / 石造]

長崎市下大野町2624

TEL 0959-25-0012 (出津教会)

2012・12・24 (月) —————

Merry Christmas !



*All rights reserved Hideki Makise*



*All rights reserved Hideki Makise*



*All rights reserved Hideki Makise*



*All rights reserved Hideki Makise*

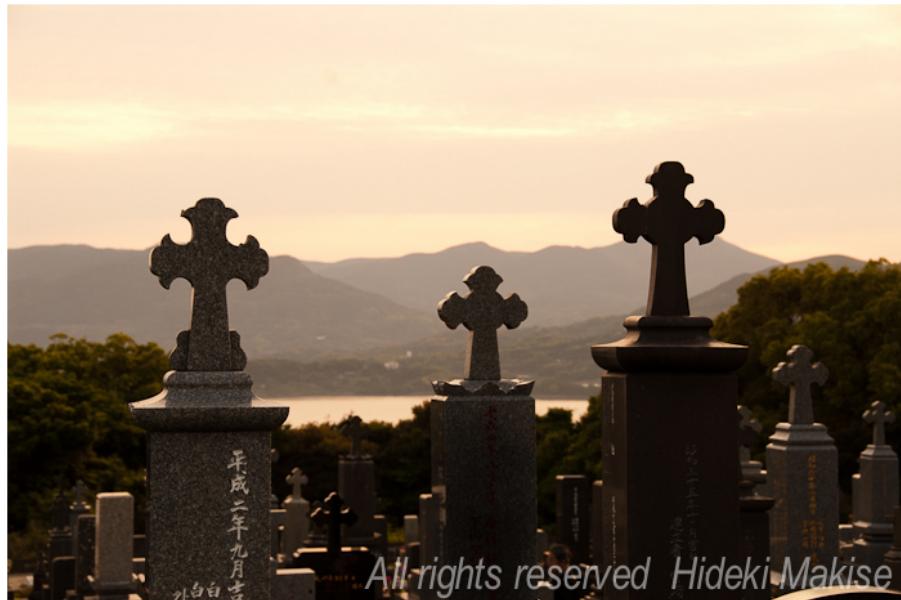
2013・12・24 (火) —————

## 長崎・平戸教会群撮影紀行 降誕祭

世界皆が平和でありますようにお祈りし

健やかに今年も降誕祭を迎えたこと

心より深く深く感謝いたします



*All rights reserved Hideki Makise*

2014・12・03 (水) —————

## 佐世保 三浦町教会

夜の佐世保 三浦町教会 24:00 過ぎ

佐世保のシンボル、白亜の建物

防空壕跡を利用した戸尾市場「とんねる横丁」  
そして、この三浦町教会も佐世保を象徴する

B29の火の嵐にさらされながらも  
間一髪奇跡的に難を逃れ生き延びた  
当時、建物は黒く塗り潰されていた

その一途なしぶとさが佐世保の民の  
復興心に灯をともしたものを感じる



*All rights reserved Hideki Makise*



*All rights reserved Hideki Makise*



*All rights reserved Hideki Makise*



*All rights reserved Hideki Makise*



*All rights reserved Hideki Makise*

2019・08・06 (火) —————

## 久方ぶりに生月、平戸を訪ねて 山田教会

ちょうど10年ぶりの再訪。

2009年5月の連休の時に息子と二人で車中泊し、  
田平から平戸、そして生月と教会群を撮影して廻った。

長崎から世界遺産を

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

の発信に基づいて、応援の気持ちと切迫感に押されて  
の事だったことを思い出す。

そして当時売り出し中の「ノンアルコールビール」を  
飲みながら、面白おかしく親子二人での車移動の珍道  
中、熱心に撮影して廻った事なども思い出される。

さて、その後見事に世界遺産に登録され、当時訪ねた  
教会を改めてWebでチェックしてみると、山田教会の  
外観が大きく変わっていた。ぱっと見では、(同じく  
鉄川与助の設計だった事もあり)頭ヶ島天主堂の造り  
と同じに見えた。そこでこちらだけは現地で確認せね  
ばと立ち寄ってきた次第。

現地で見てみると、元々のコンクリート壁に砂岩の  
タイルを貼ってリフォームしたようだ。

堂内にあった資料を見させて頂くと、痛んできた構造  
を翌年の2010年に内外改装されたとの由。

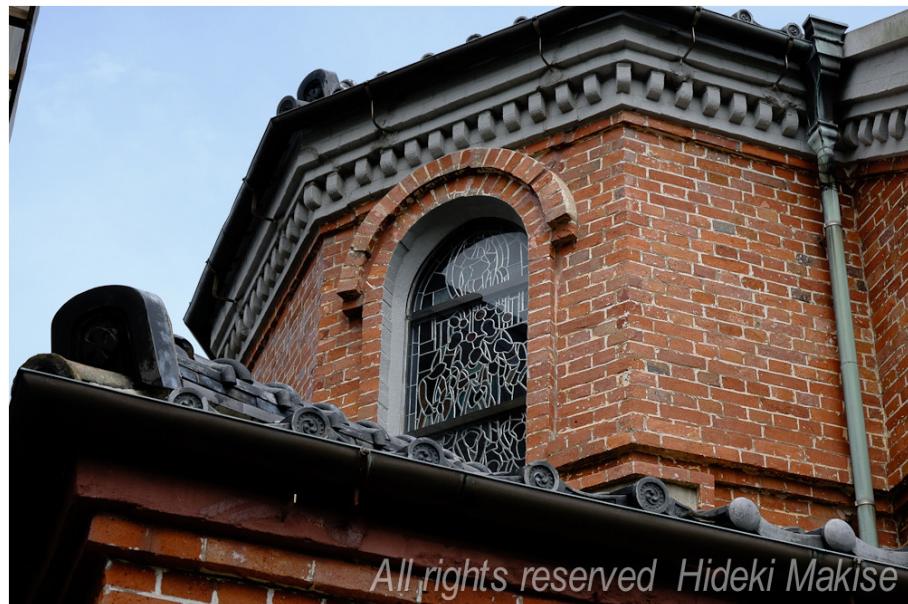
残念ながら現在は、堂内の撮影は禁止されていた。

また、2階へも立ち入り禁止になっていた。堂内撮影  
は叶わなかつたが、外観は変われど堂内の装飾の見事  
さは衰える事は無く、穏やかな心持ちにしてくれる空  
気感に変わりはなかつた。

是非、前回アップしている内容をご参照頂きたい。  
とりわけ、壁面の魚介類をモチーフにした装飾が今も  
尚、色褪せる事なく素晴らしい、信徒さんの生業が漁  
業である事に人生の営みに根ざしている事を感じさせ  
られる。







*All rights reserved Hideki Makise*



*All rights reserved Hideki Makise*

2019・08・07 (水) —————

## 久方ぶりに生月、平戸を訪ねて 春日集落

初めて訪れたここは、平戸島の西北域に位置する「春日集落」。世界文化遺産に認定された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の中のひとつ。

この地一帯、生月島、平戸島西域は、一斉改宗された信徒の多くが弾圧から逃れる為潜伏した。

「隠れキリシタン」と称されるように、文字通り「隠れ」て、あるいは「偽装」して、「オラシヨ」や「納戸神」そして「マリア観音」等々工夫しながら潜伏してきた。

この地「春日集落」は地理的に、安満岳から伸びる二つの尾根に挟まれた長さ1キロほどの谷に位置していて、県道19号線が開通する迄は背後の安満岳中腹まで登って外へ抜けるか、あるいは船で生月島方面へ行くのか、のいずれしか外界との方策は無かつた。

今でこそ車でアップダウンしながらもすぐに到着するが・・・まさしく外界を断ち、目立たずひつそりと「潜伏」するには相応しい地だったのだろう。

だから、ずっと昔のまんまの地理的景観が残っており、彼等が何を信仰の「よすが」としてきたのかが想われるのだとか。

それは、土着の信仰、神道、仏教、自然崇拜等と混合しながら独自の形を作り信仰し続け、その姿は集落全体を見渡せる小高い山「丸尾山」に残る「石祠」等にもその名残りが見られる。この集落に潜伏してきた信徒達は、解禁後もカトリック教には復帰せず、教会という施設は無い。

この丸尾山からはキリストン墓地が発掘されている。その頂上は1坪程の狭さで、そこにある石祠にはお水やお賽銭が供えられていた。暑い中を軟弱年寄りにはきつかった登り道、ひと息ついて頂上から見渡してみると、なんとそこからは集落の姿全体を見ることができ、緑いっぱいの棚田が眩しかった。

そんな頂上に在る「石祠」は、やはり今も尚、昔と変わらずに集落の立派な棚田を見守っているのだろうなあ、と感じられた。



*All rights reserved. Hideki Makise*





All rights reserved Hideki Makise



All rights reserved Hideki Makise

2019・08・08 (木) —————

## 久方ぶりに生月、平戸を訪ねて 田平教会

生月島、平戸島からの帰り際、久しぶりに田平天主堂に立ち寄った。

厳かな教会の姿は、斜めに傾いた陽の光を受け、変わらぬ美しさを放ち、最初に訪れた頃の事など思い出された。

また、夕刻の海に向かって立つクロスを冠する墓石群には、変わらぬ穏やかな空気を感じながら、久々に周囲を見てみると・・・ 海に向かって立ち並ぶ樹木の枝が伸び葉が茂り、海への見晴らしが遮られてきた感がし、世の習い時の流れもまた感じられた。

そして、またここに身を置く事ができた事、つくづくも幸いな事だと感じ入る。 ありがたい！



*All rights reserved Hideki Makise*



*All rights reserved Hideki Makise*



All rights reserved. Hideki Makise



All rights reserved. Hideki Makise





Hideki Makisé



長崎教会群撮影紀行  
<https://myfilter.exblog.jp>  
著 者：牧瀬英喜  
発行日：2020年07月02日

